

# 倉吉市内遺跡分布調査報告書Ⅷ

平成6年度

倉吉市教育委員会

## 序

この報告書は、平成5年度および6年度に開発事業に伴う事前事業として実施した、分布調査の記録であります。

本市における最近の開発事業は、畑地は場整備・工場用地造成・ダム建設に伴う採石事業・ごみ処理施設建設工事、そして市の各種事業など多様化の様相を示し、さらに大規模なものも含まれております。こうした開発事業は、本市発展の根幹ともいべき事業であります。文化財保護を推し進める任を負う私共といたしましては、開発と文化財との共存をはかるべく、各関係機関と協議を重ね、開発工事と文化財調査との調整を図り、さらには地元の方々のご理解とご協力を得て円滑に文化財行政を進めるよう努めているところであります。

今回、実施した調査におきましても、遺跡の有無とその広がりあるいは性格を把握するという目的を果たし、無事現場作業を終えて、ここに報告書刊行のはこびとなった次第であります。

最後に、調査にご協力いただいた方々、とりわけ猛暑・厳寒の中、現場で作業に従事していただいた方々、ならびに関係各位に対して深甚の謝意を表するものであります。

平成7年3月

倉吉市教育委員会  
教育長 小川 幸人

## 例 言

1. 本報告書は、平成5年度及び6年度に倉吉市教育委員会が、国・県の補助を受けて実施した分布調査の記録である。分布調査は、トレンチ・グリッドによって遺構の有無・範囲・性格を調査したものである。

2. 発掘調査団は次のような組織・編成である。

団 長 小川 幸人（倉吉市教育委員会教育長）

調査委員 名越 勉（倉吉市文化財保護審議会会長）

手嶋 義之（倉吉市文化財保護審議会委員）

調査員 根鈴 輝雄（倉吉博物館学芸員）

眞田 廣幸（文化課文化財係係長）

森下 哲哉（文化財係主任）

根鈴智津子（文化財係主事）

竹宮重也子（文化財係主事）

岡本 智剛（文化財係主事 6年度）

加藤 誠司（鳥取県教育委員会派遣調査員 5年度 文化財係主事 6年度）

竹中 孝浩（鳥取県教育委員会派遣調査員） 高取 英雄（鳥取県教育委員会派遣調査員）

調査補助員 山根 雅美（6年度）

事務局 藤井 規昭（教育次長 5年度）

福井 輝夫（教育次長 6年度）

由井洋之助（文化課課長 5年）

生田 淳美（文化課課長 6年）

中原 拓憲（文化課課長補佐 6年度）

猪口 洋志（文化財係主事）

高山 りさ（文化財係主事）

山崎 朋子（臨時職員）

内務整理 泉 美智子・松田 恵子・貫須由美子・妻藤 君江・松嶋あつ子・青戸 千秋

谷崎 恵子・石川 明子・竹歳 聡子・児玉美佐子

3. 地形図は、平成元年修正測量の1:2,500国土基本図 倉吉市平面図を使用し、方位は国土座標第Ⅴ座標系で示した。

4. 発掘資料は倉吉博物館で保管している。

### 1. 津原地区 (ニク子塚遺跡)

調査地点	倉吉市津原字フタゴ塚、清水谷
調査期間	平成5年5月11日～平成5年6月11日
調査契機	国営小田股ダム建設に係る採石事業に伴う埋蔵文化財予備調査
調査方法	トレンチによる発掘調査
調査面積	996㎡
調査担当	竹宮重也子
調査概要	調査は 津原地区集落の南側、東西に延びる丘陵の尾根に計27本のトレンチを設定して行った。トレンチの土層は基本的に、暗褐色土・淡黄褐色土(ソフトローム層) からなるが、第20～25トレンチでは大部分に客土が盛られていた。各トレンチの規模・面積・検出遺構・出土遺物については、表にまとめた。

調査の結果、丘陵尾根部分で古墳を中心とする遺構を検出した。このため事前の発掘調査が必要である。

トレンチ No.	規模 (m)	面積 (㎡)	検出遺構	出土遺物
1	2×16	32		縄文土器
2	2×25	50	土壌	弥生土器・土師器
3	2×20	40		
4	2×20	40		
5	2×20	40		
6	2×20	40	土壌	土師器
7	2×20	40	古墳周溝・土壌	土師器
8	2×20	40		
9	2×10	20	土壌	土師器
10	2×20	40		
11	2×20	40		
12	2×10	20	古墳周溝・竊式石棺蓋	
13	2×20	40		
14	2×20	40	古墳周溝	土師器
15	2×20	40		
16	2×20	40		土師器
17	2×20	40	古墳周溝	
18	2×20	40		
19	2×20	40		土師器
20	2×26	52	古墳周溝・竊式石棺蓋	
21	2×16	32	竊式石棺蓋	
22	2×10	20	古墳周溝	
23	2×10	20	土壌・溝	
24	2×9	18	古墳周溝	縄文土器・土師器
25	2×13	26	古墳周溝	
26	2×30	60		
27	2×23	46		土師器



## 2. みどり町地区 (宮ノ平遺跡)

調査地点 倉吉市みどり町宮ノ平

調査期間 平成5年6月24日～平成5年7月8日

調査契機 皆成学園改築工事に伴う埋蔵文化財予備調査

調査方法 トレンチ・グリッドによる発掘調査

調査面積 82.5㎡

調査担当 根鈴輝雄

調査概要 調査は事業計画予定地内の内、ひかり寮の北側畑地とグランド西側の丘陵斜面に、トレンチ及びグリッドを設定しておこなった。各トレンチ・グリッドの規模・面積・検出遺構・出土遺物については、表にまとめた。

トレンチ No	規模 (m)	面積 (㎡)	検出遺構	出土遺物
T1	2 × 17.5	35		土師器・須恵器
拡張	1.5 × 7	10.5		
T2	2 × 12.5	25	竪穴式住居址	土師器・須恵器・鉄製品・磁石・準石
G1	2 × 2	4	竪穴式住居址	鉄製品・磁石
G2	2 × 2	4		
G3	2 × 2	4		



調査の結果、ひかり寮北側の畑地は厚く客土に覆われているものの、ゴミ穴などにより旧地形が破壊されていた。グラウンド西側の丘陵斜面で古墳時代の住居址を検出した。このため丘陵斜面部分については、事前発掘調査が必要である。

### 3. 大谷地区（四王寺跡）

調査地点	倉吉市大谷 <sup>いちのたに</sup> 一ノ谷、 <sup>おおやま</sup> 大谷山
調査期間	平成5年9月2日～平成5年9月24日
調査契機	山村広場施設工事に伴う埋蔵文化財予備調査
調査方法	トレンチによる発掘調査
調査面積	69.8㎡
調査担当	真田廣幸
調査概要	調査は事業計画予定地内の内、お堂周辺にトレンチを3本設定しておこなった。調査の結果、第1トレンチ（幅3m・長さ4m）より溝、第3トレンチ（幅2m・長さ15.5m、拡張幅2m・長さ3m）の西端より寺院跡に伴う遺構（掘り込み地業跡）が検出された。溝は近代のものと判断された。遺物は、第1トレンチより土師器・陶磁器・鉄滓、第2トレンチ（長さ3m・幅6.5m）より平安時代から鎌倉時代の陶磁器が出土した。現在のお堂が建っている基壇は、四王寺建立当初のものである可能性が高い。また、第2トレンチの遺物出土状況から、お堂局



辺の平坦地一帯に四王寺跡に伴う幾つかの施設などが存在すると考えられる。

なお、発掘調査は実施していないが、駐車場予定地の北端に位置する土手状の高まりは、地形の状況から四王寺跡に伴う区画施設と考えられ、削平を表土にとどめ現状保存とする。

#### 4. 小田地区

調査地点 倉吉市厳城字北塚、首切谷きたかみ くびきりたに

調査期間 平成5年9月20日～平成5年9月27日

調査契機 ごみ処理施設建設事業に伴う埋蔵文化財予備調査

調査方法 トレンチによる発掘調査

調査面積 116㎡

調査担当 森下哲哉

調査概要 調査は、事業予定地内の削平される北側の丘陵尾根平坦部分に、幅2mのトレンチを3本（第1トレンチ・長さ19m、第2トレンチ・長さ18m、第3トレンチ・長さ21m）設定して実施した。各トレンチの土層は、基本的に表土（腐葉土）、黒茶褐色土、暗褐色土（漸移層）からなる。

調査の結果、第1トレンチより小さな黒色土落ち込みを確認したが、遺構としては考えられない。他のトレンチからも遺構・遺物は検出されなかった。



## 5. 古川沢地区（上張坪遺跡・下張坪遺跡）

調査地点	倉吉市古川沢字上張坪、下張坪
調査期間	平成5年10月18日～平成5年11月9日
調査契機	畑地ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財予備調査
調査方法	トレンチによる発掘調査
調査面積	632㎡
調査担当	根鈴輝雄

調査は、事業予定地内に計17本のトレンチを設定しておこなった。各トレンチの規模・面積・検出遺構・出土遺物については、表にまとめた。

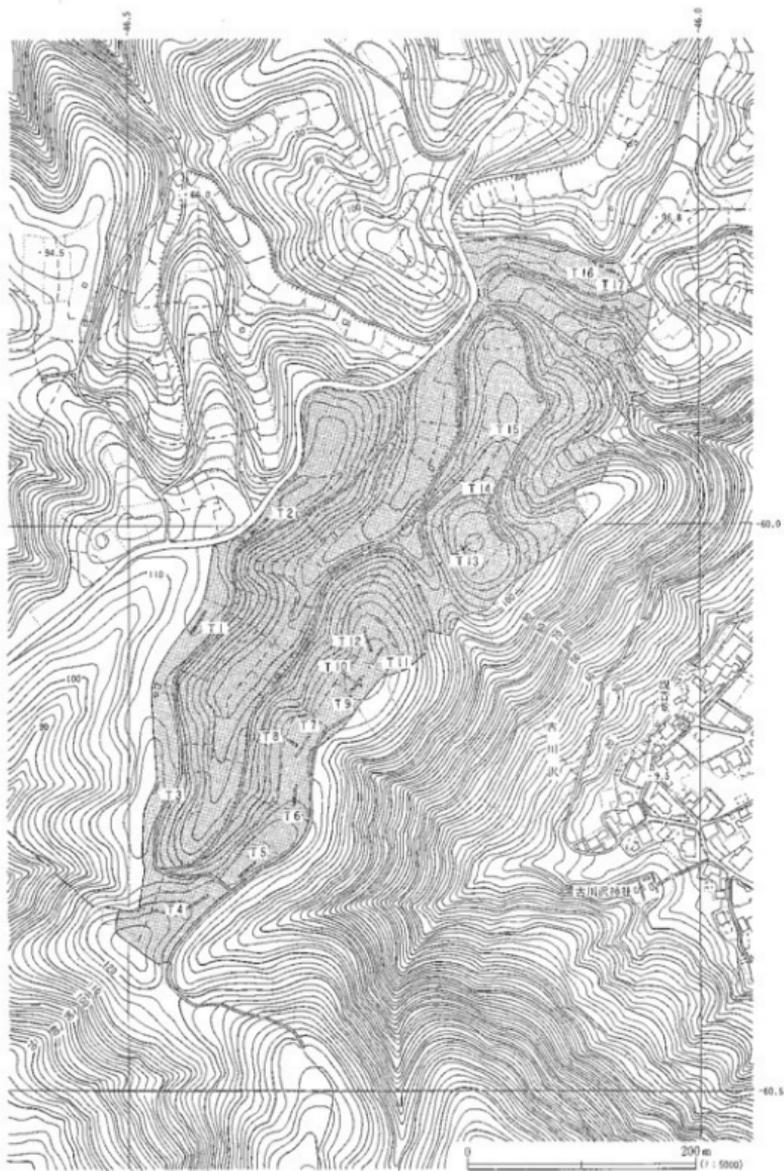
調査の結果、11本のトレンチから竪穴式住居址・溝・土壌、古墳の周溝や箱式石棺墓を検出した。このため事前の発掘調査が必要である。

トレンチ No.	規模 (m)	面積 (㎡)	検出遺構	出土遺物
1	2×25	50	竪穴式住居址・溝・土壌	土師器
2	2×22	44		
3	2×13	26	古墳周溝	
4	2×22	44	古墳周溝・箱式石棺墓	
5	2×20	40	箱式石棺墓	
6	2×19	38		土師器・須恵器
7	2×23	46	箱式石棺墓	
8	2×15	30		
9	2×22	44	古墳周溝・箱式石棺墓	土師器
10	2×20	40	古墳周溝	
11	2×23	46	古墳周溝	
12	2×23	46	古墳周溝	土師器
13	2×8	16	古墳周溝	須恵器
14	2×14	28		
15	2×21	42		
16	2×14	28		
17	2×12	24	古墳周溝	土師器・須恵器

## 6. 岩倉地区（岩倉城跡）

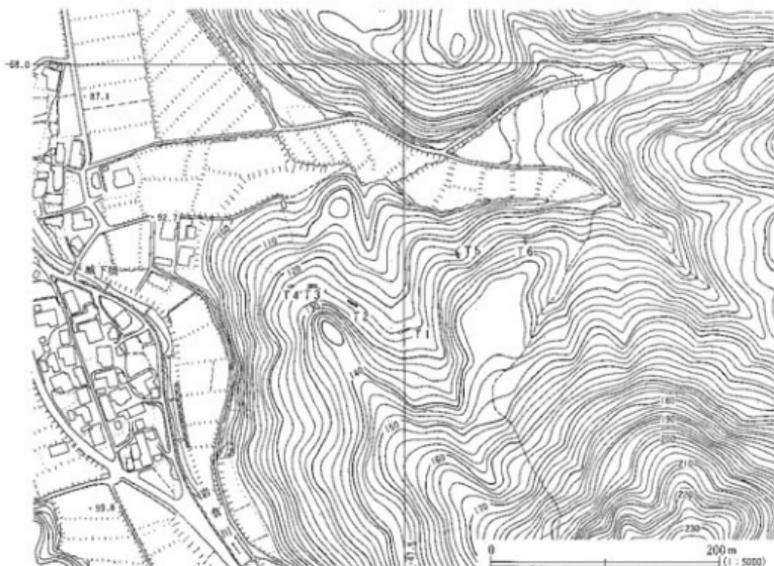
調査地点	倉吉市岩倉字明谷山、上ミ坂
調査期間	平成5年11月11日～平成5年11月18日
調査契機	林道開発事業に伴う埋蔵文化財予備調査
調査方法	トレンチによる発掘調査
調査面積	91㎡
調査担当	真田廣幸

調査は、事業予定地内に6本のトレンチを設定しておこなった。各トレンチの規模・面積・検出遺構・出土遺物については、表にまとめた。



調査の結果、第1～4トレンチで遺構・遺物が検出され、岩倉城に関連する施設が存在することがあきらかになった。このため事前の発掘調査が必要である。

トレンチ No	規模 (m)	面積 (㎡)	検出遺構	出土遺物
1	2×10	20	人工の平地地	土師器・磁鉢
2	2×10	20	人工の平地地	土師器
3	2×8	16	人工の平地地	土師器
4	2×6	12	人工の平地地	土師器
5	2×7	14		
6	2×4.5	9		



#### 7. 不入岡地区（不入岡遺跡群・沢べり遺跡）

調査地点	倉古市不入岡字沢べり、弥次兵衛、堀、奥屋敷、東畑
調査期間	平成5年11月15日～平成6年2月16日
調査契機	畑地ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財予備調査
調査方法	トレンチによる発掘調査
調査面積	2,778㎡
調査担当	竹宮亜也子
調査概要	調査は、事業予定地内に計34本のトレンチを設定しておこなった。各トレンチ

の規模・面積・検出遺構・出土遺物については、表にまとめた。

調査の結果、弥生時代の竪穴式住居址、古墳の間溝、箱式石棺墓等を検出した。また遺物は、弥生土器から中・近世陶磁器に至る幅広い時代のものが出土した。このため事前の調査が必要である。

トレンチ No	規模 (m)	面積 (㎡)	検出遺構	出土遺物
1	3×30	90	溝状遺構	須恵器・土師質土器・鉄
2	2×20	40	土壌	弥生土器・土師器・土師質土器・瓦質土器
3	3×20	60		
4	3×35	105	溝状遺構	土師質土器・陶器
5	3×30	90		土師器・須恵器・土師質土器・陶器
6	3×30	90		
7	3×35	105	土壌・ピット	須恵器・土師質土器
8	3×30	90	溝状遺構	弥生土器・土師器・須恵器・土師質土器・陶器・磁器 鉄製品
9	3×20	60		須恵質土器・陶器・磁器
10	3×20	60		
11	3×20	60	古墳間溝・土壌	弥生土器・須恵器・礫石
12	3×30	90	竪穴式住居址	弥生土器
13	3×35	105	溝状遺構	土師質土器・陶器
14	3×25	75	土壌	弥生土器・土師器・陶器
15	3×30	90	竪穴式住居址	弥生土器・土師器
16	3×25	75		弥生土器・土師器・須恵器・土師質土器・須恵質土器 礫石
17	3×40	120	土壌・ピット	弥生土器・土師器・土師質土器・須恵質土器・陶器・埴輪 鉄製品
18	2×40	80		弥生土器・須恵器・土師質土器・須恵質土器・陶器・磁器 鉄製品
19	3×20	60	ピット	土師質土器・須恵質土器・陶器・磁器
20	3×30	90	竪穴式住居址・土壌	弥生土器・土師質土器
21	3×30	90	竪穴式住居址	弥生土器・須恵器・土師質土器・陶器・磁器・鉄製品
22	3×20	60	土壌・ピット	弥生土器
23	3×35	105	竪穴式住居址・箱式石棺墓	弥生土器
24	3×30	90	竪穴式住居址・箱式石棺墓	弥生土器・須恵器・土師質土器・陶器・磁器
25	3×20	60		磁器
26	3×20	60		
27	3×30	90	堀	須恵器・土師質土器・陶器・磁器・鉄製品・碧玉
28	3×25	75		弥生土器・須恵器・土師質土器・須恵質土器・瓦質土器
29	3×46	138		須恵器・土師質土器・瓦質土器・陶器・磁器・鉄製品 礫石
30	3×15	45	土壌	
31	3×20	60	土壌・ピット	須恵器・土師質土器・陶器・磁器
32	3×30	90		土師器・土師質土器・磁器
33	3×30	90	箱式石棺墓	須恵器・土師質土器・印石・灰化物
34	3×30	90	溝状遺構	弥生土器・土師質土器



8. 不入岡地区（不入岡遺跡群・不入岡遺跡）

調査地点 倉吉市不入岡字荒神畑、宮ノ前、大林、壱

調査期間 平成6年4月18日～平成6年5月30日

平成6年11月7日～平成7年3月3日

調査契機 不入岡遺跡範囲確認調査

調査方法 トレンチによる発掘調査

調査面積 740㎡

調査担当 竹宮亜也子

調査概要 調査は、不入岡遺跡のうち平成5年度の発掘調査によって確認した、奈良時代から平安時代の大型掘立柱建物群の、東側と南側の範囲を確認するために行った。各トレンチの規模・面積・検出遺構・出土遺物については、表にまとめた。

調査の結果、遺跡の南側では、第1トレンチで土師器片・平瓦片が出土し、第5トレンチで中世から近世にかけての掘立柱建物を検出したものの、後世の攪乱が激しく遺跡の南限を示す遺構は検出されなかった。また東側では、多くのトレンチで大型の柱穴を検出し、遺跡が東側に広がるのがわかった。しかし東側でも明確な区画施設は検出されておらず、遺跡の規模は明確にできていない。

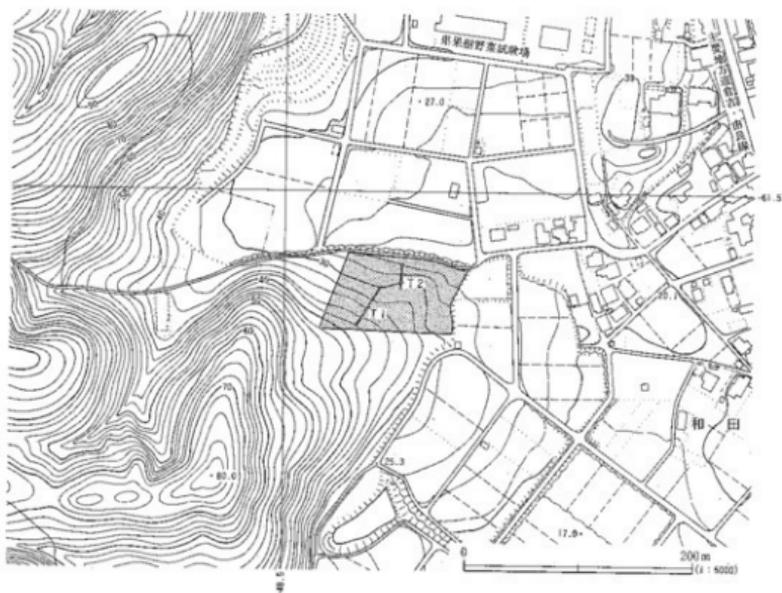


トレンチ No	規模 (m)	面積 (㎡)	検出遺構	出土遺物
1	3 × 10	30		弥生土器・土師器・須恵器・土師質土器 陶器(唐津焼埴)、赤瓦・鉄
2	3 × 19	57		土師器・須恵器・土師質土器・陶器・磁器 青銅・鉄
3	3 × 20	60		土師器・須恵器・土師質土器・陶器(陶前焼埴)
松葉	3 × 3	9		土師器・須恵器・土師質土器・陶器・磁器
4	2 × 11	22	型穴式住居址・竪立柱遺物	土師器・須恵器・土師質土器
松葉	2 × 2	4	溝	
5	3 × 20	60	竪立柱遺物・土溝	弥生土器・土師器・須恵器・陶器(陶前焼埴・唐津焼埴)・磁器
松葉	4 × 5	20		土師質土器・須恵質土器・陶器(唐津焼埴)
6	3 × 13	39		近世土器・陶器(唐津焼・瀬戸焼)・磁器・瓦
7	3 × 11.5	34.5	柱穴	土師器・近世土器・陶器
8	1 × 4	4		近世土器
9	2 × 5.5	11	柱穴・ピット	土師器・土師質土器・陶器
10	3 × 40	120	土溝・柱穴・ピット・溝	弥生土器・土師器・須恵器・土師質土器 鑄の羽口・鉄・炭化物
11	3 × 14.5	43.5	ピット	
12	3 × 11	33	ピット	弥生土器・土師器・須恵器・土師質土器
13	3 × 10	30	土溝	近世土器・陶器(唐津焼埴)・磁器・瓦・鉄
14	3 × 3.5	10.5	ピット	
15	2.5 × 3	7.5	ピット	
16	3.5 × 4	14	柱穴・ピット	
17	3 × 5.5	16.5	柱穴・ピット・溝	土師質土器・須恵質土器・鉄
松葉	1 × 10.5	10.5		
18	1 × 7	7	土溝	近世土器・陶器・磁器・瓦
19	4 × 4	16		土師器・須恵器・磁器
20	4 × 5	20	柱穴	近世土器
松葉	2 × 3	6		
21	2 × 5	10	柱穴	須恵器(唐津焼)
22	3 × 8	24	柱穴・ピット	土師器・須恵器
松葉	1 × 6	6		
23	1.5 × 6	9	ピット	
24	2 × 3	6	土溝	

## 9. 大谷茶屋地区

調査地点	倉吉市大谷新林西 <sup>しんばやしにし</sup>
調査期間	平成6年6月6日～平成6年6月10日
調査契機	身体障害者療護施設建設事業に伴う埋蔵文化財予備調査
調査方法	トレンチによる発掘調査
調査面積	136㎡
調査担当	森下哲哉
調査概要	調査は、事業予定地内に幅2mのトレンチを2本（第1トレンチ・長さ40m、第2トレンチ・長さ28m）設定しておこなった。予定地は昭和62年当時に一度造成があり、古墳を除く部分の表土剥土と削平が行われ、遺構面が露出していた。

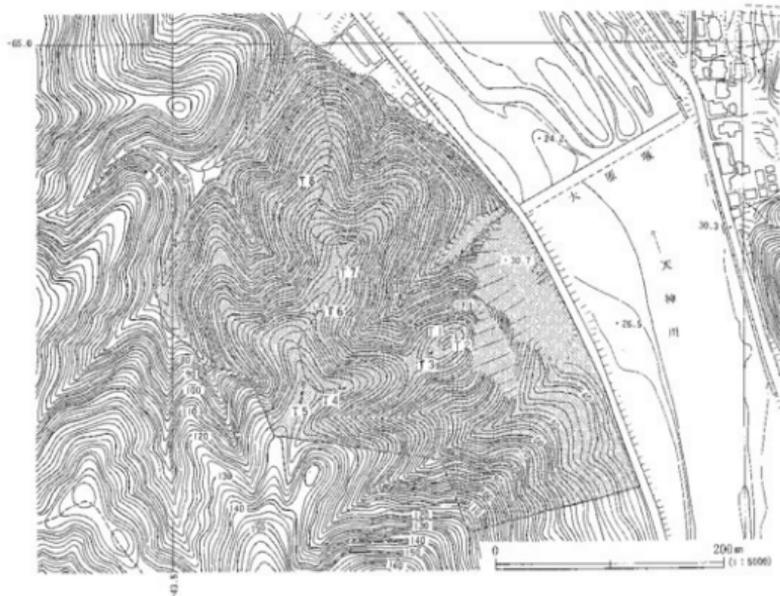
調査の結果、造成に伴う削平が想像以上に大きく、遺構の確認はできなかった。特に北側の平坦部に設定した第2トレンチでは、地山ローム層まで削平が及んでおり、遺構はすでに破壊されていた。遺物は、第2トレンチから土師器・須恵器が出土したが、いずれも削平による攪乱部分からであった。



## 10. 円谷地区 (円谷城跡)

調査地点	倉吉市円谷字城ノ谷、猪畑谷、山汲谷
調査期間	平成6年6月6日～平成6年6月17日
調査契機	土砂採取事業に伴う事前の埋蔵文化財予備調査
調査方法	トレンチによる発掘調査
調査面積	261㎡
調査担当	加藤誠司
調査概要	調査は、事業予定地内に8本のトレンチを設定しておこなった。各トレンチの規模・面積・検出遺構・出土遺物については、表にまとめた。

トレンチ No	規模 (m)	面積 (㎡)	検出遺構	出土遺物
1	2×29	58	入口的な段 (曲輪)	土師質土器
2	2×7.5	15	入口的な段 (曲輪)	
3	2×5.3	11	堀切	
4	2×18.5	37		土師質土器
5	2×20	40	入口的な平地	
6	2×8	16	土橋	須恵器・土師質土器
7	2×32.5	65	入口的な平地・土塀	
8	2×9.5	19		



調査の結果、人工的な平坦地・堀切・曲輪等を検出し、城跡の存在が明らかとなった。このため事前の発掘調査が必要である。

## 11. 歎経寺地区

調査地点 倉吉市歎経寺町

調査期間 平成6年6月14日～平成6年7月12日

調査契機 興和紡績倉吉工場跡地再開発事業に伴う事前の埋蔵文化財予備調査

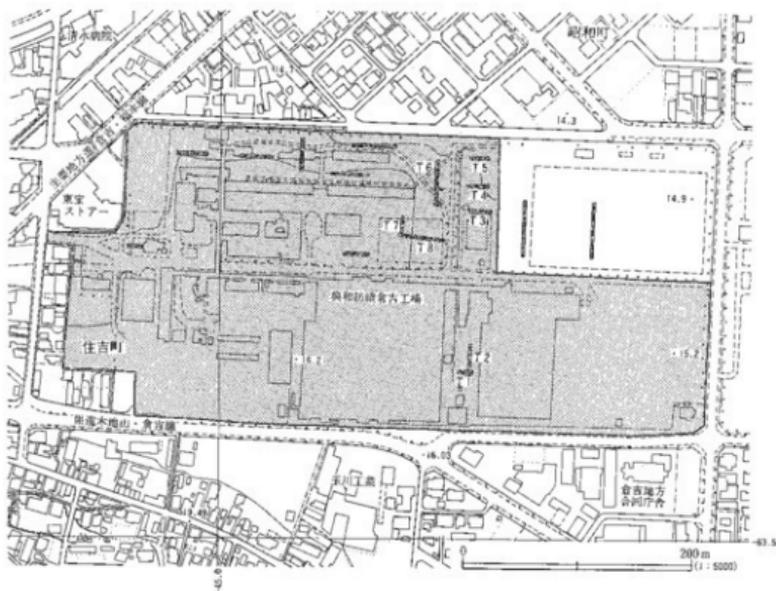
調査方法 トレンチによる発掘調査

調査面積 591㎡

調査担当 森下哲哉

調査概要 調査は、事業予定地内に8本のトレンチを設定しておこなった。各トレンチの規模・面積・検出遺構・出土遺物については、表にまとめた。

調査の結果、第1トレンチにおいて木樋を検出した。これは昭和44年の工事中に発見された木樋の東側延長部分であり、東西に延びる事を確認した。また第6・第8トレンチでは、南北に延びる旧水路を確認した。この水路を境として、東側では多量の瓦など遺物が出土するが、西側では遺物の出土がないことが判明した。このため開発事業については、事前の発掘調査が必要である。



トレンチ No.	規模 (m)	面積 (㎡)	検出遺構	出土遺物
1	3×7	21	じみ抜き痕	土師器・須恵器・瓦
2	3×30	90		土師器・須恵器・瓦・木椽
3	3×20	60		
4	3×20	60		
5	3×20	60		
6	3×42	126	旧水路	土師器・須恵器・土師質土器
7	3×16	48		土師質土器・土師
8	3×42	126	旧水路	土師器・須恵器・瓦・鉄

## 12. 大原地区（裾ヶ谷墳丘墓）

調査地点 倉吉市大原<sup>ナカ</sup>字<sup>ノ</sup>裾ヶ谷

調査期間 平成6年9月12日～平成6年10月6日

調査契機 工場造成事業に伴う事前の埋蔵文化財予備調査

調査方法 トレンチによる発掘調査

調査面積 163㎡

調査担当 森下哲哉

調査概要 調査は、市道大原・山根線の東側に位置する南北に延びる丘陵尾根、大原字裾ヶ谷付近を中心に7本のトレンチを設定しておこなった。各トレンチの規模・面積・検出遺構・出土遺物については、表にまとめた。

調査の結果、丘陵尾根上に大型の弥生時代後期の墳丘墓を確認した。遺物は、弥生土器や土師器等が出土しており、中でも第1トレンチで検出した埋葬施設の上には、棺上遺物と考えられる一括土器群が出土した。このため、丘陵尾根上に位置する墳丘墓は、事前の発掘調査が必要である。

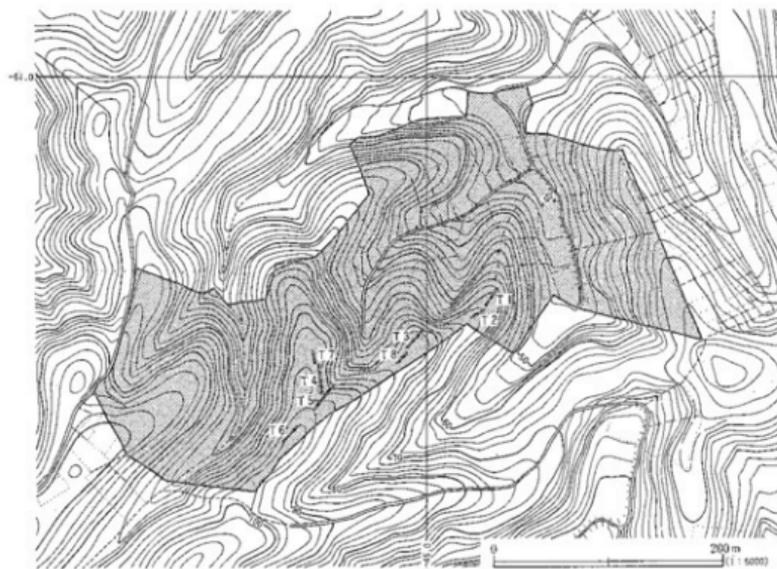
トレンチ No.	規模 (m)	面積 (㎡)	検出遺構	出土遺物
1	2×18.5	37	埋葬施設	弥生土器・土師器
2	2×17	39.5	埋蔵施設	土師器
	1×5.5			
3	2×20.5	41	埋蔵施設	弥生土器
4	2×8.5	17		弥生土器・土師器・炭化物
5	1.5×8	12		弥生土器・土師器
6	1.5×5.5	8.25		土師器
7	1.5×5.5	8.25		弥生土器・須恵器



### 13. 小田地区 (向山古墳群)

- 調査地点 倉古市小田字田内堀
- 調査期間 平成6年10月26日～平成6年11月16日
- 調査契機 青少年の森・市民交流の森事業に伴う事前の埋蔵文化財予備調査
- 調査方法 トレンチによる発掘調査
- 調査面積 308㎡
- 調査担当 森下哲哉
- 調査概要 調査は、事業予定地内の丘陵のうち、古墳などの高まりが確認されていない南側の丘陵の尾根を中心に、8本のトレンチを設定しておこなった。各トレンチの規模・面積・検出遺構・出土遺物については、表にまとめた。
- 調査の結果、トレンチからは遺構は検出しなかったが、事業予定地内の西側・東側・北側の丘陵尾根を中心に、古墳が存在している。このため古墳が存在する丘陵尾根部分は、事前の発掘調査が必要である。

トレンチ No	規模 (m)	面積 (㎡)	検出遺構	出土遺物
1	2×19	38		
2	2×15	30		
3	2×23	46		
4	2×26	52		弥生土器・石鏃
5	2×25	50		縄文土器
6	2×20	40		
7	2×12	24		
8	2×14	28		



#### 14. 成徳（住吉）地区

調査地点 倉吉市住吉町

調査期間 平成6年11月8日～平成6年11月9日

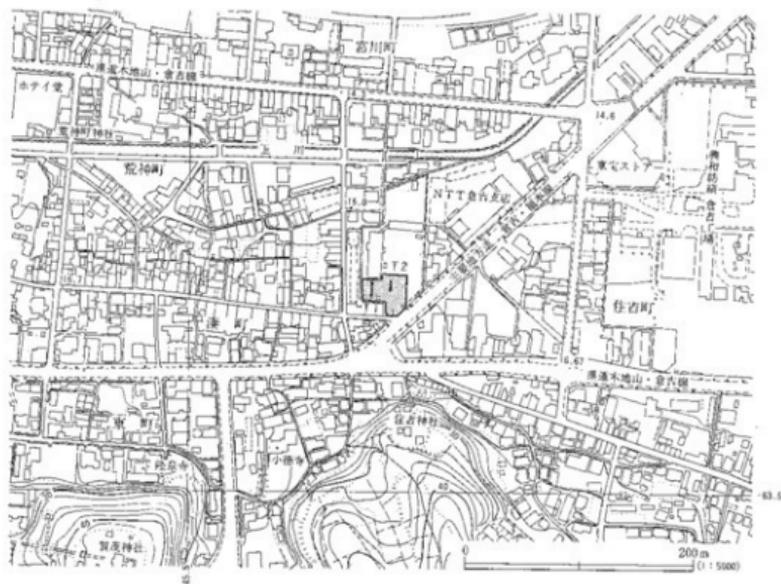
調査契機 成徳公民館建設工事に伴う事前の埋蔵文化財予備調査

調査方法 トレンチによる発掘調査

調査面積 50㎡

調査担当 森下哲哉

調査は、建物建設予定地の東側と西側に、幅2mのトレンチを2本設定しておこなった。第1トレンチ（長さ15m）では、現地表面から約30cmの客土を除去し黒茶褐色土の旧地表面を確認した。さらに40～60cm掘下げて地山面に達する。トレンチ内北側で円筒埴輪片が出たが、古墳の周溝などの遺構は検出しなかった。第2トレンチ（長さ10m）は、現地表面から約1.1mの客土（砂礫層）を除去し、旧水田面を検出した。さらに50cm程掘下げたが遺構は確認できなかった。

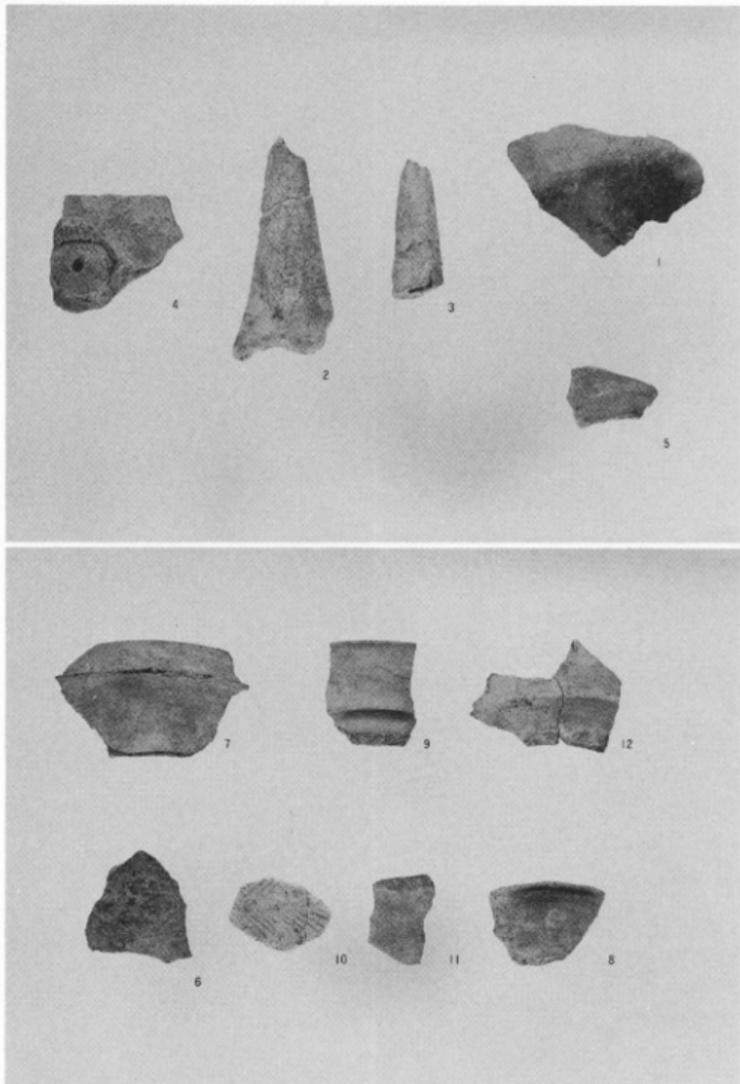




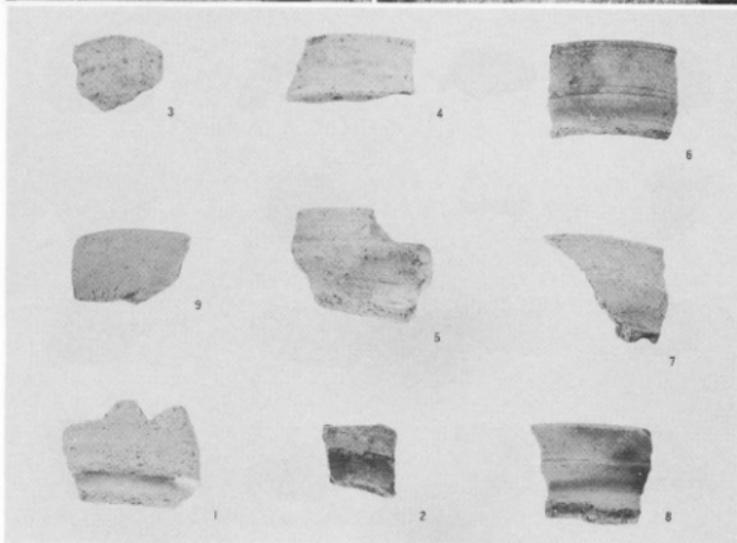


津原地区▲第12トレンチ 北側箱式  
石棺墓出土状況(南より)  
▼第20トレンチ(南より)

津原地区▲第17トレンチ(北東より)  
▼第24トレンチ(東より)



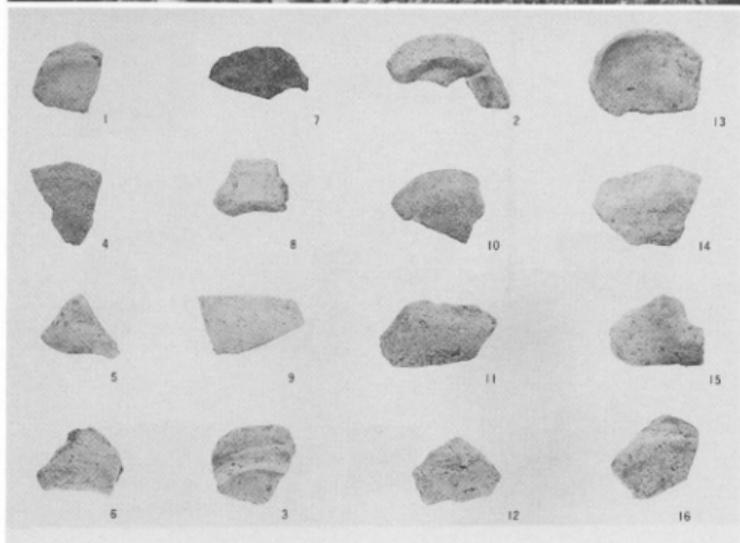
津原地区出土遺物 1:3



みどり町地区 ◀第1トレンチ (西より) ▶第2トレンチ (南より)

▼出土遺物 1 : 3

図版 4



大谷地区▲第3トレンチ(南より)  
▼出土遺物 1 : 3



小田地区▲第2トレンチ(北より)

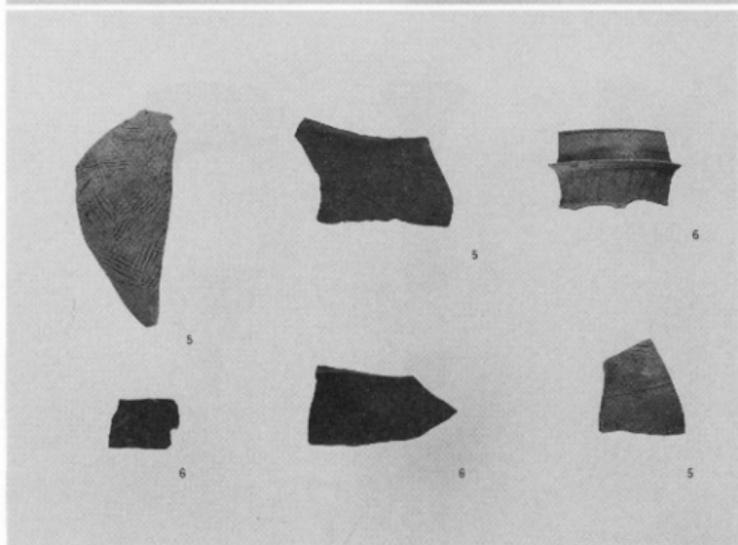
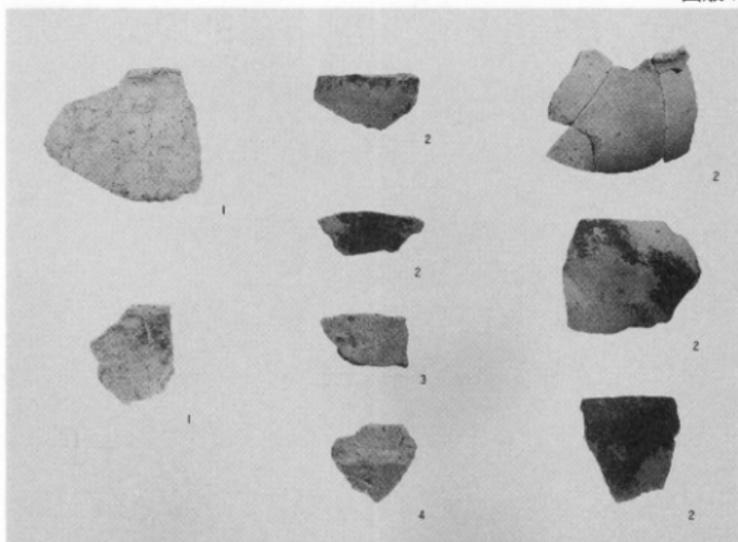
▼第3トレンチ(北より)

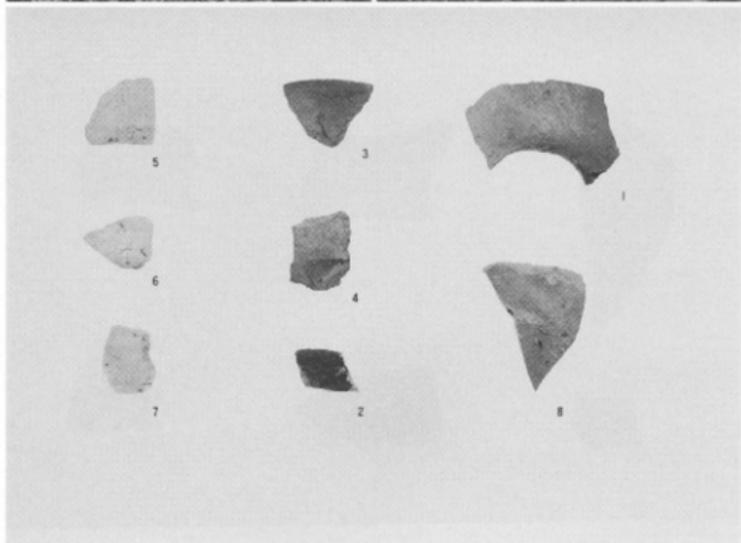
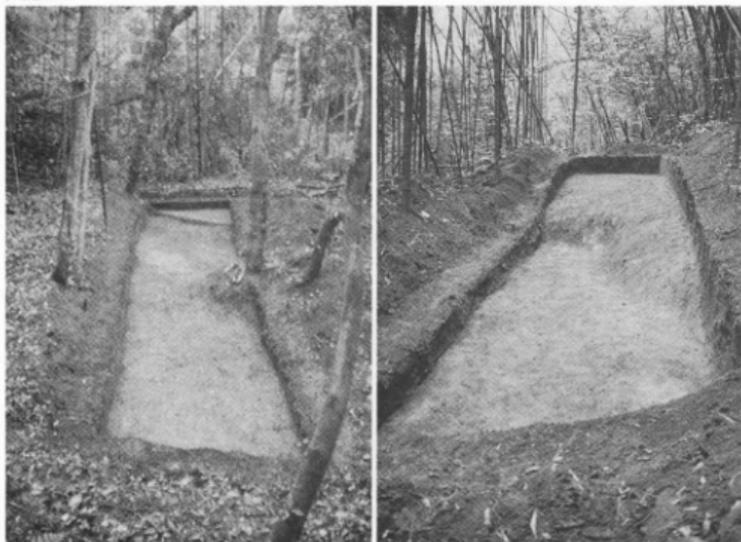
図版 6



古川沢地区▲第1トレンチ(北より)  
▼第14(F)・第15トレンチ(上)  
(南より)

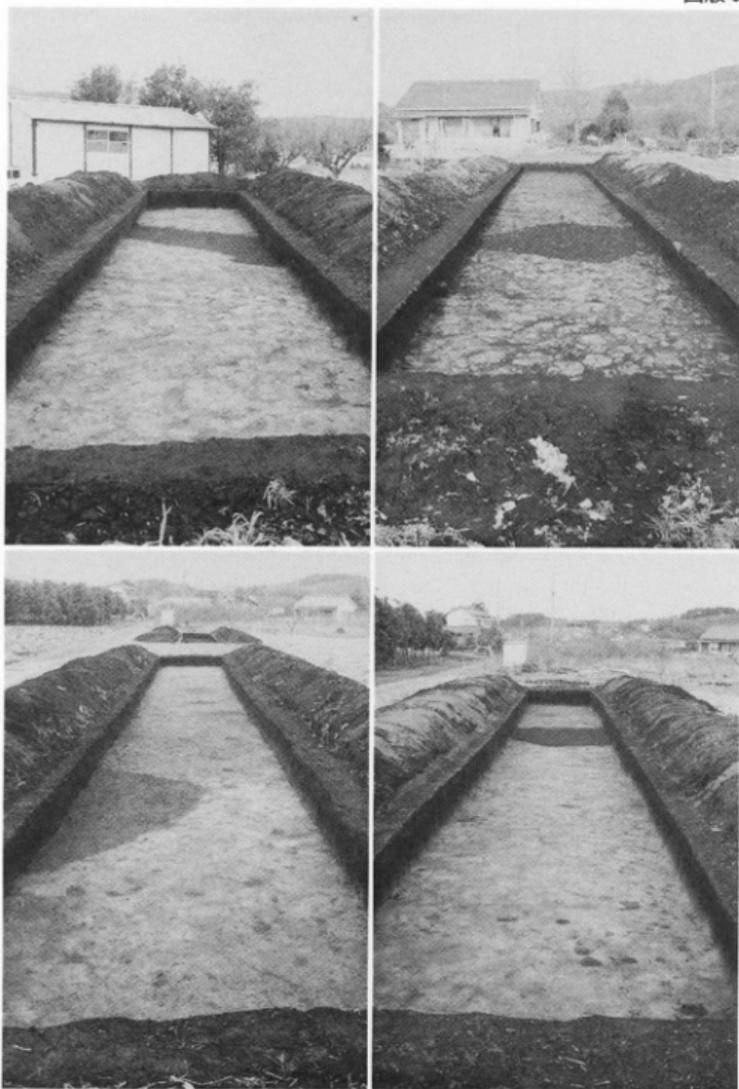
▲第4トレンチ(北より)  
▼第17トレンチ(東より)





岩倉地区◀第1トレンチ(東より)▶第2トレンチ(東より)

▼出土遺物 1:3



不入岡地区▲第11トレンチ (西より)

▼第20トレンチ (南より)

▲第15トレンチ (南西より)

▼第21トレンチ (南より)

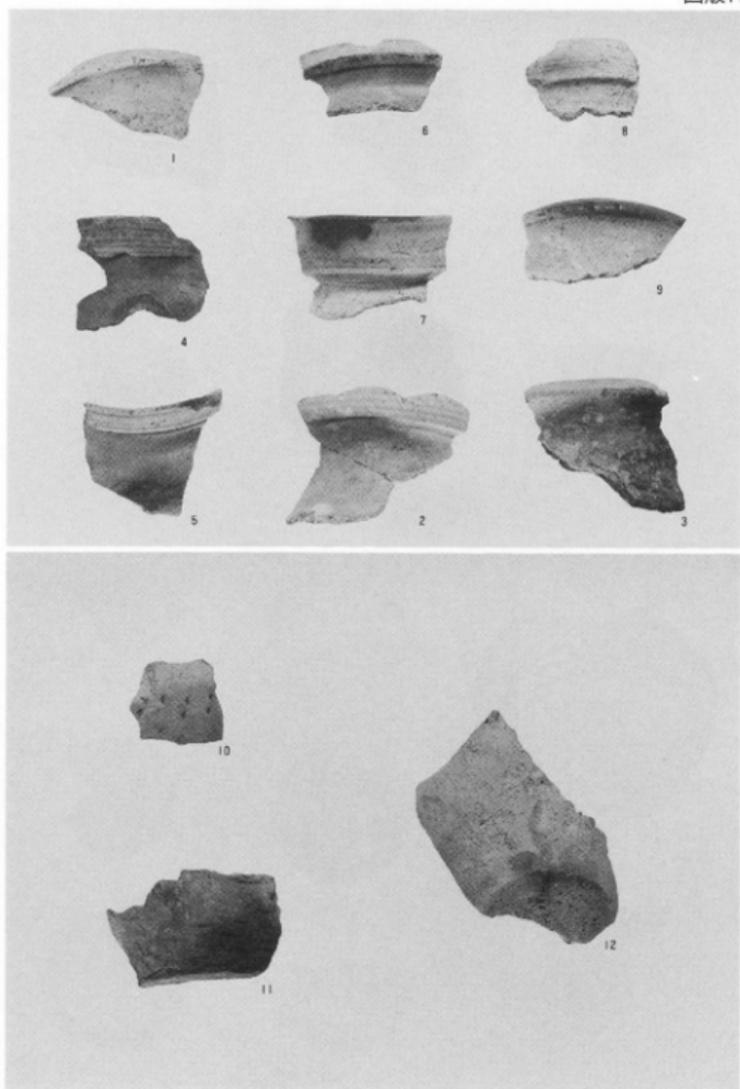


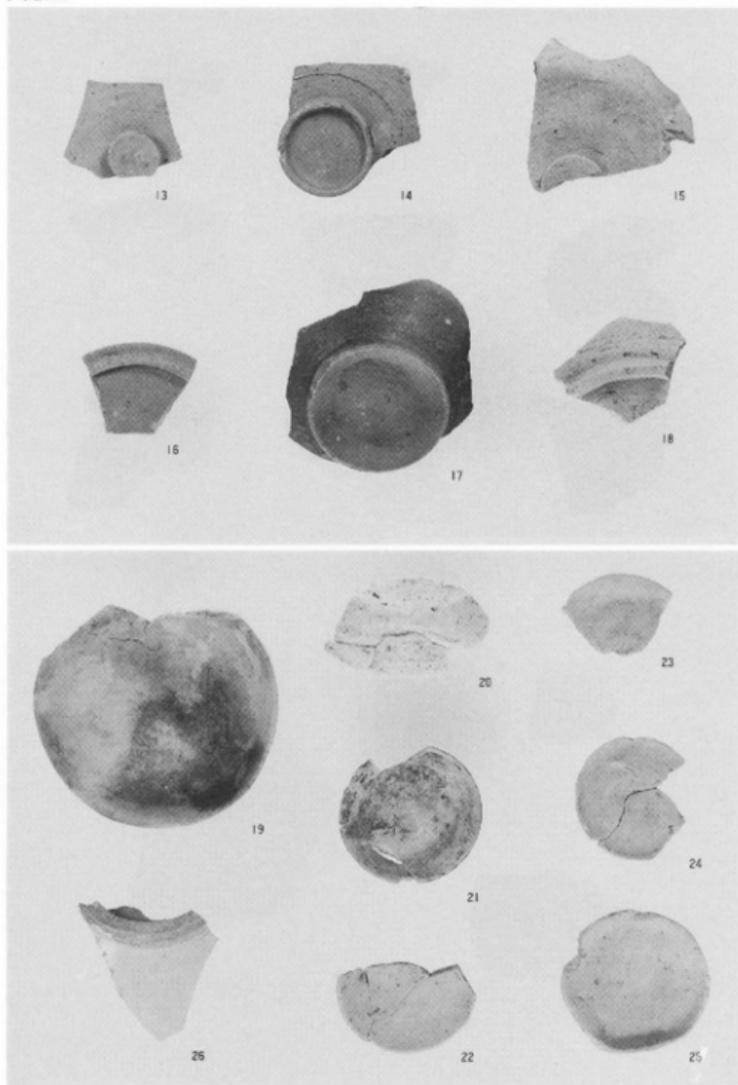
不入岡地区▲第23トレンチ 石棺出土状況  
(西より)

▼第33トレンチ 石棺出土状況  
(北東より)

▲第24トレンチ 石棺出土状況  
(北より)

▼第34トレンチ(北西より)







不入岡地区▲第4トレンチ (北より)

▼第7トレンチ (北より)

▲第5トレンチ (南より)

▼第9トレンチ (東より)

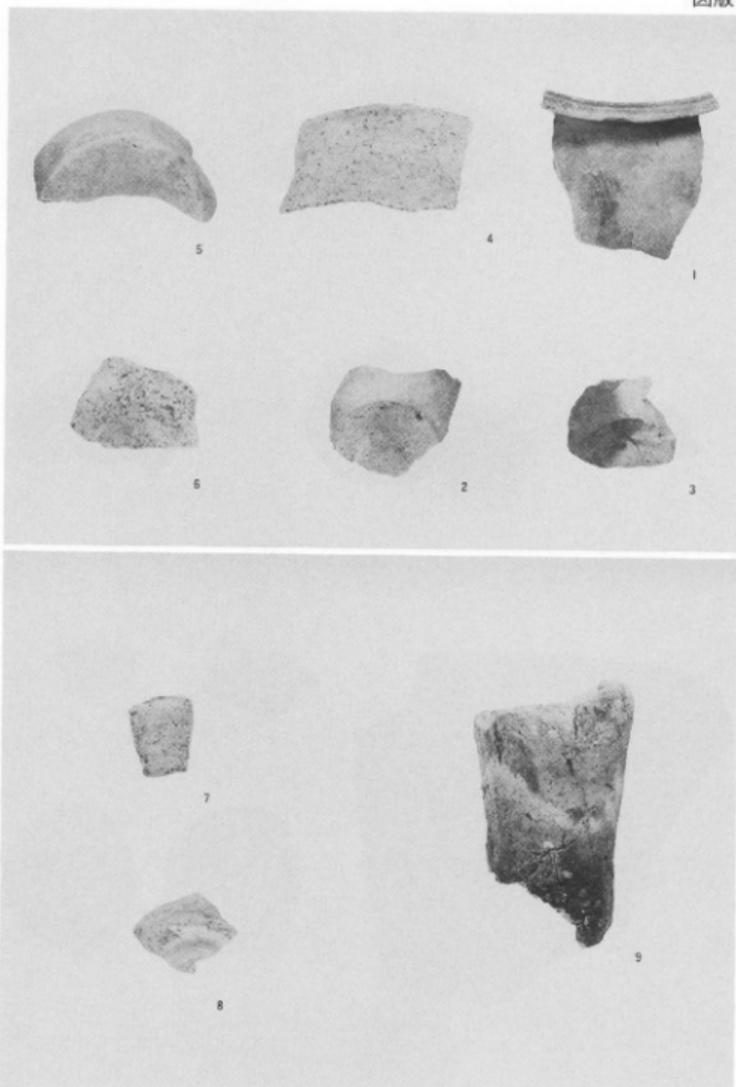


不入岡地区▲第10トレンチ (東より)

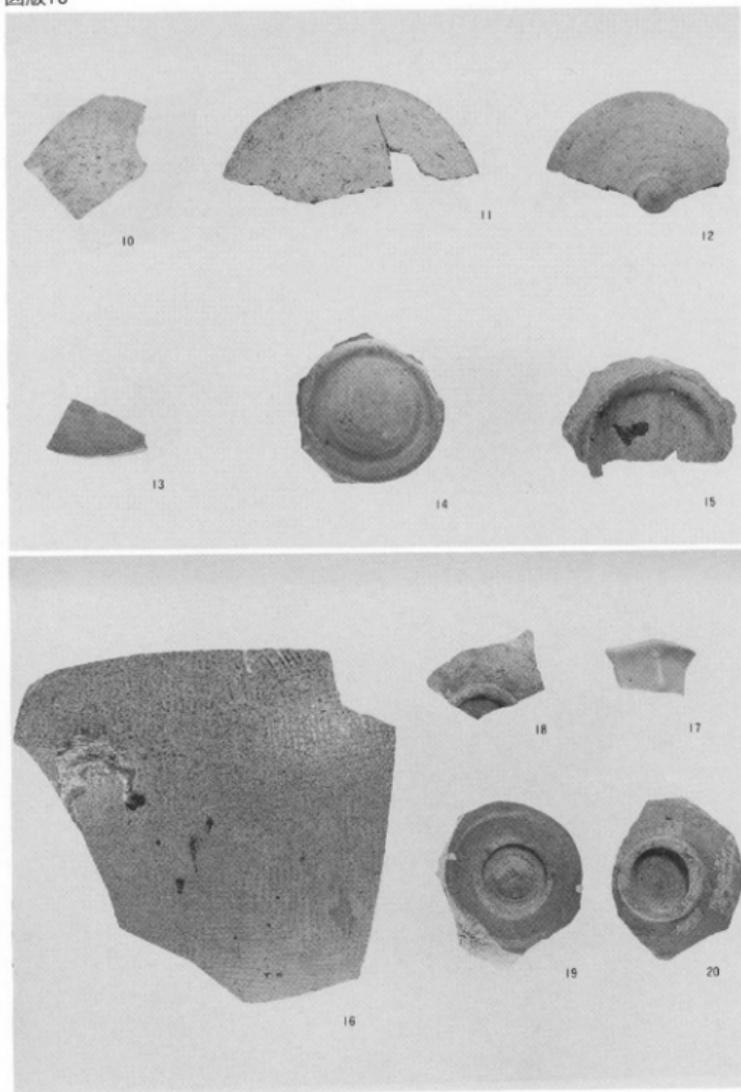
▼第17トレンチ (南より)

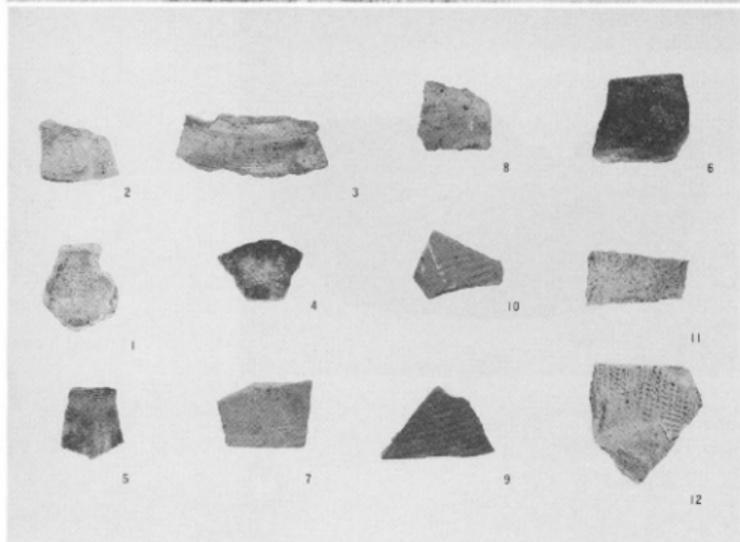
▲第16トレンチ (北より)

▼第20トレンチ (東より)



不入岡地区出土遺物 1 : 3



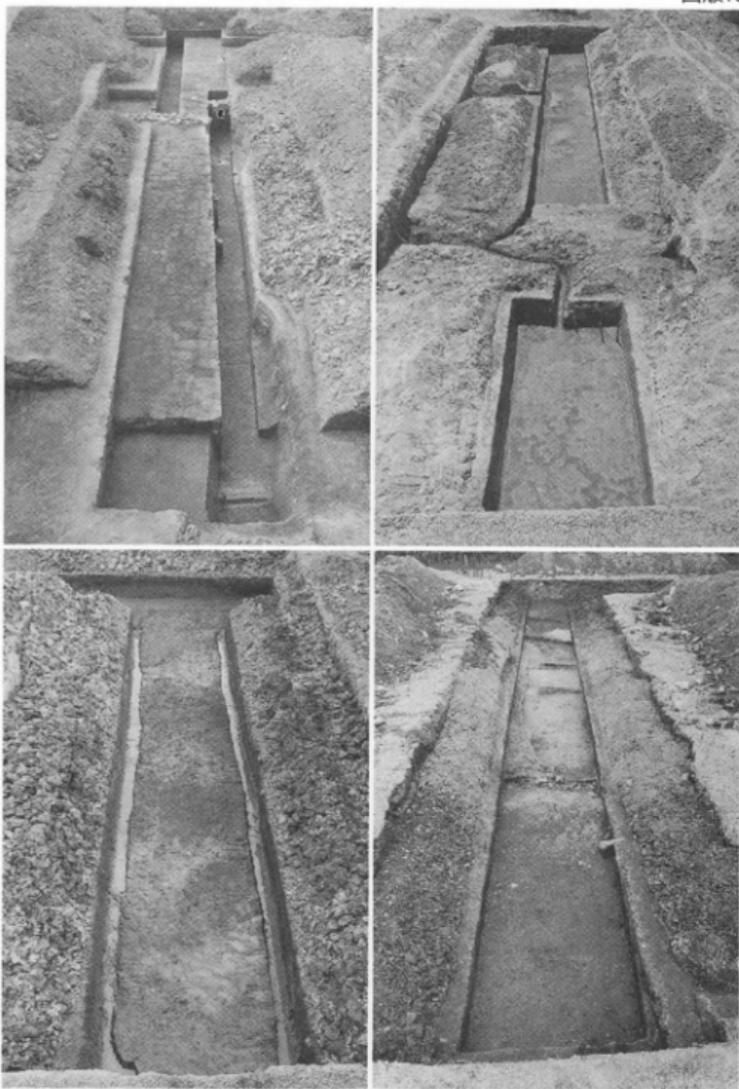


大谷茶屋地区▲第2トレンチ(南より)

▼出土遺物 1:3



円谷地区◀第3トレンチ(東より)▶第5トレンチ(南より)  
▼出土遺物

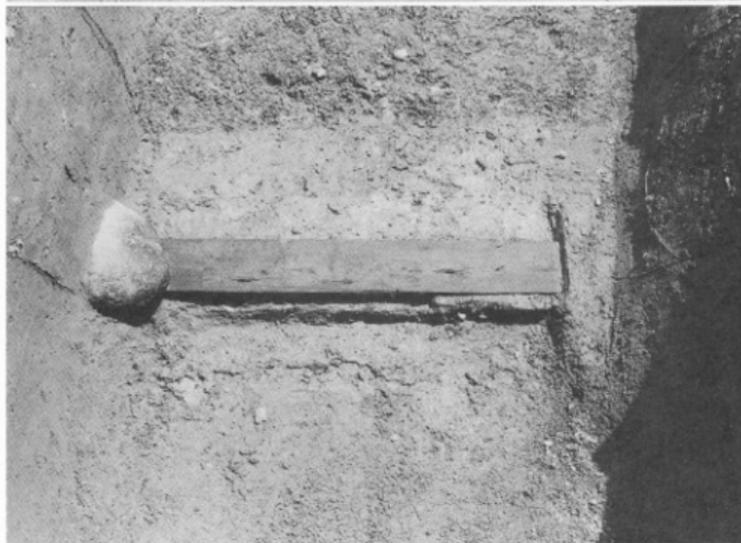


駐経寺地区▲第2トレンチ(北より)

▼第7トレンチ(北より)

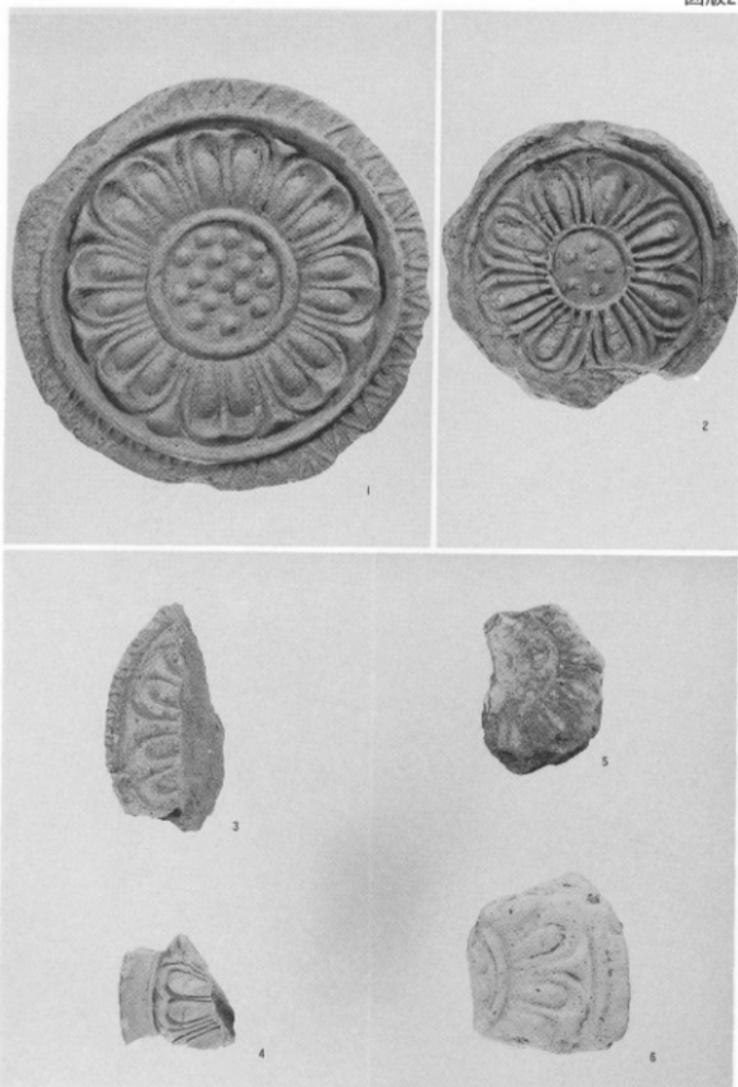
▲第6トレンチ(北より)

▼第8トレンチ(東より)



▲第2トレンチ 木桶出土状況 (西より)

▼第2トレンチ 木桶出土状況 (北より)

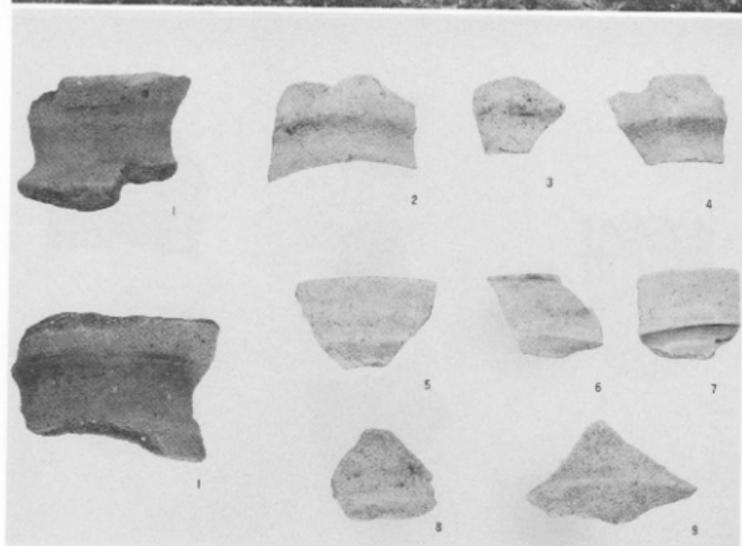


馱經寺地区出土遺物 1 : 3



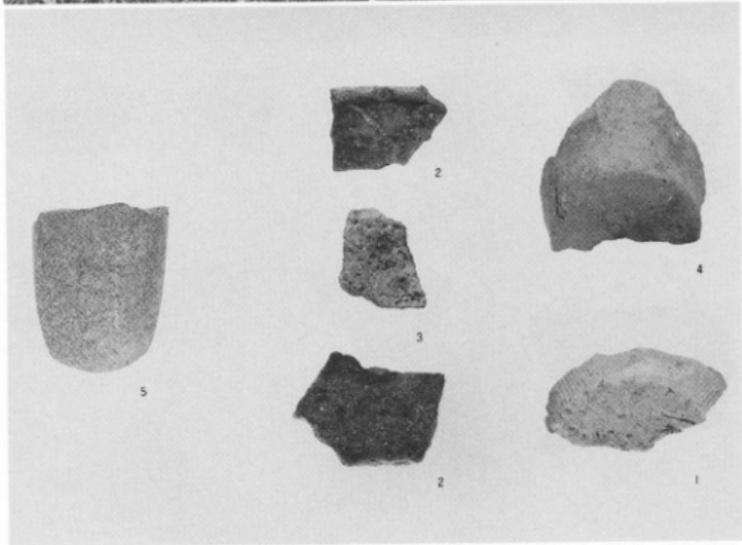
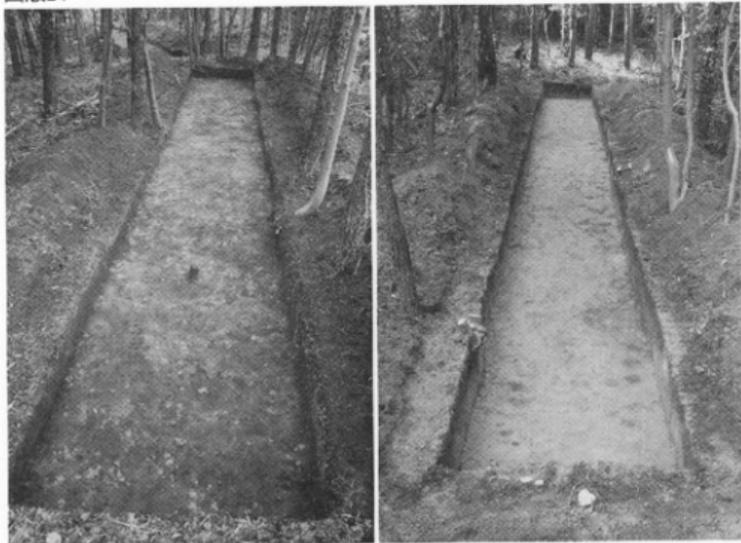
大原地区▲第2トレンチ(北より)

◀第4トレンチ(東より)▶第4トレンチ完掘(東より)



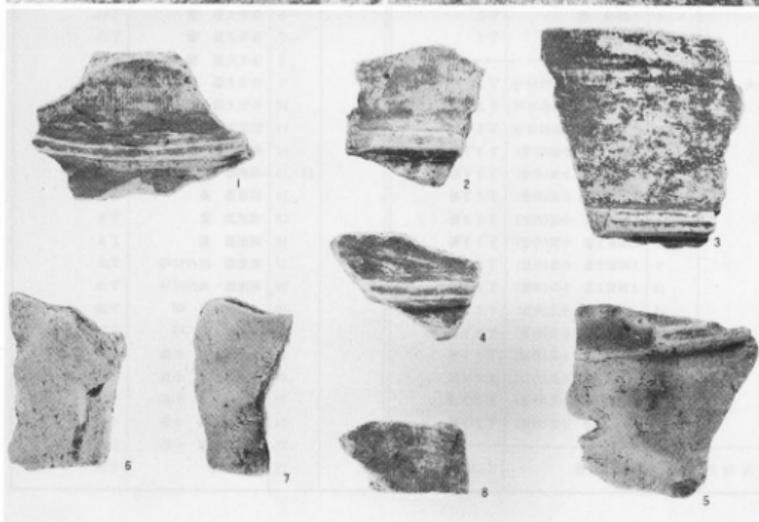
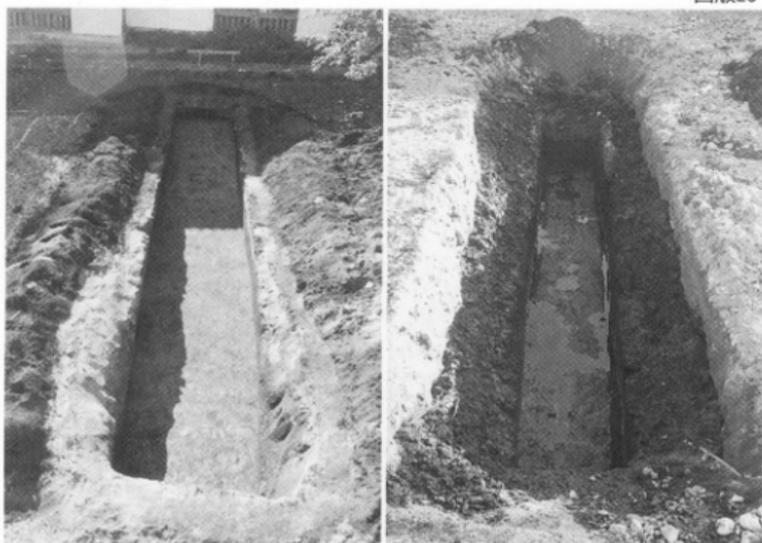
大原地区▲突出部より墳丘を臨む（南西より）

▲ 墳丘  
▼ 出土遺物 1 : 3



小田地区◀第2トレンチ(南西より)▶第6トレンチ(北東より)

▼出土遺物 1 : 3



成徳地区◀第1トレンチ(南より)▶第2トレンチ(南より)  
▼出土遺物 1:3

平成5年度調査

地区名	図版No.	遺物名	出土位置	地区名	図版No.	遺物名	出土位置
津原	2-1	弥生土器 底部	T6	古川沢	7-2	土師器 甕	T1東側
	2	土師器 注口土器	T2		3	土師器 胴部	T1東側
	3	土師器 注口土器	T2		4	不明 底部	T1西側
	4	土師器 高坏	T2		5	須恵器 有蓋蓋	T6南側
	5	土師質土器 坏	T7		6	須恵器 巻瓶類	T13古墳側溝上面
	6	縄文土器 深鉢	T1		岩倉	8-1	弥生土器 高坏
	7	土師器 甕	T2	2		土師器 甕	T3表土
	8	土師器 甕	T2	3		土師質土器 甕	T2表土
	9	土師器 甕	T2	4		土師質土器 甕	T2表土
	10	土師器 甕	T2	5		土師質土器 坏	T1表土
	11	土師器 甕	T2	6		土師質土器 坏	T1表土
	12	土師器 器台	T2	7		土師質土器 坏	T1表土
			8	須恵器 深鉢		T1表土	
みどり町	3-1	弥生土器 甕	T2	不入岡	11-1	弥生土器 甕	T24
	2	弥生土器 甕	T2		2	弥生土器 甕	T21
	3	土師器 甕	T2		3	弥生土器 甕	T8
	4	土師器 甕	T2		4	弥生土器 甕	T21
	5	土師器 甕	T2		5	弥生土器 甕	T11
	6	土師器 甕	T2		6	弥生土器 甕	T14
	7	土師器 甕	T2		7	弥生土器 甕	T15
	8	土師器 甕	T2		8	弥生土器 甕	T27
	9	土師器 甕	T2		9	弥生土器 器台	T24
大谷	4-1	土師質土器 高古付坏	T2下層		10	弥生土器 甕	T8
	2	土師質土器 高古付坏	T2下層		11	弥生土器 底部	T14
	3	土師質土器 高古付坏	T2下層		12	弥生土器 底部	T2
	4	土師質土器 小皿(丹塗)	T2下層		12-13	須恵器 蓋	T28
	5	土師質土器 小皿(丹塗)	T2下層		14	須恵器 蓋	T18
	6	土師質土器 小皿(丹塗)	T2下層		15	須恵器 蓋	T8
	7	土師質土器 小皿(丹塗)	T2下層		16	須恵器 蓋	T8
	8	土師質土器 小皿(丹塗)	T2下層	17	須恵器 高古付坏	T5	
	9	土師質土器 小皿(丹塗)	T2下層	18	須恵器 高古付坏	T18	
	10	土師質土器 小皿(丹塗)	T2下層	19	土師質土器 坏	T28	
	11	土師質土器 小皿(丹塗)	T2下層	20	土師質土器 坏	T18	
	12	土師質土器 小皿(丹塗)	T2下層	21	土師質土器 小皿	T28	
	13	土師質土器 小皿(丹塗)	T2下層	22	土師質土器 小皿	T18	
	14	土師質土器 小皿(丹塗)	T2下層	23	土師質土器 小皿	T28	
	15	土師質土器 小皿(丹塗)	T2下層	24	土師質土器 小皿	T17	
	16	土師質土器 小皿(丹塗)	T2下層	25	土師質土器 小皿	T17	
古川沢	7-1	土師器 甕	T12表土	26	陶器 椀	T29	

平成6年度調査

地区名	図版No	遺物名	出土位置	地区名	図版No	遺物名	出土位置	
不入岡	15-1	弥生土器 甕	T5ピット	岡谷	18-1	須恵器 埴	T7	
	2	弥生土器 灰部	T17		蘇峰寺	21-1	新瓦瓦	T2
	3	弥生土器 底部	T10			2	新瓦瓦	T2
	4	土師質土器 甕	T12			3	新瓦瓦	T2
	5	土師質土器 坏	T5土溝			4	新瓦瓦	T2
	6	土師質土器 坏	T3松張区			5	新瓦瓦	T2
	7	土師質土器 甕	T12	6		新瓦瓦	T2	
	8	土師質土器 高台付坏	T9	大原	23-1	弥生土器 甕	T1	
	9	ふいご 羽口	T10跡下層		2	弥生土器 甕	T1	
	10-10	須恵器 坏身	T5		3	弥生土器 甕	T1	
	11	須恵器 甕	T10溝		4	弥生土器 甕	T1	
	12	須恵器 甕	T10溝		5	土師器 甕	T1	
	13	須恵器 甕	T10		6	土師器 甕	T1	
	14	須恵器 高台付坏	T10溝		7	土師器 甕	T1	
	15	須恵器 高台付坏	T22		8	土師器 甕	T1	
	16	須恵器 甕	T10		9	土師器 高坏	T1	
	17	青磁 筒取坏	T2		小田	24-1	縄文土器 深鉢刺代底	T4
	18	唐津焼 甕	T5ピット	2		弥生土器 突唇文土器	T4	
	19	唐津焼 甕	T5松張区	3		弥生土器片	T4	
	20	唐津焼 甕	T5松張区	4		弥生土器 底部	T4	
大谷基壇	17-1	弥生土器 甕	T2	5	蛤貝磨製石斧	T5		
	2	土師器 甕	T2	成徳	25-1	円筒埴輪	T1	
	3	土師器 甕	T2		2	円筒埴輪	T1	
	4	土師器 甕	T2		3	円筒埴輪	T1	
	5	土師器 甕	T2		4	円筒埴輪	T1	
	6	土師器 大型空甕類	T2		5	円筒埴輪	T1	
	7	土師器 高坏	T2		6	円筒埴輪	T1	
	8	須恵器 空甕類	T2		7	円筒埴輪	T1	
	9	須恵器 空甕類	T2		8	空形埴輪	T1	
	10	須恵器 甕	T2					
	11	須恵器 甕	T2					
	12	須恵器 甕	T2					

報告書抄録

書名		倉吉市内遺跡分布調査報告書					
副書名							
巻名		Ⅷ					
シリーズ名		倉吉市文化財調査報告書					
シリーズ番号		第80集					
編著者名		根鈴麻雄・風田俊幸・森下雲哉・竹宮至孝子・加藤誠司					
編集機関		倉吉市教育委員会					
所在地		〒682 鳥取県倉吉市栗町722番地 TEL.0858-22-8111					
発行年月日		西暦1995年3月20日					
所収遺跡名	所在地	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査範囲
		市町村：遺跡記号					
上ノ子塚遺跡	倉吉市津原字フナゴ塚、清水谷	31203 :	35° 27' 18"	133° 45' 25"	19930511-19930611	996	倉吉市における各種調査事業に伴う事前の分布調査
宮ノ平ル遺跡	倉吉市みどり町字宮ノ平ル	31203 :	35° 25' 8"	133° 49' 3"	19930624-19930708	82.5	
西平寺跡	倉吉市大谷字一ノ谷、大谷山	31203 :	35° 26' 52"	133° 47' 14"	19930902-19930924	69.8	
下張坪遺跡	倉吉市古川沢字上張坪、下張坪	31203 :	35° 27' 36"	133° 49' 19"	19931018-19931109	632	
岩倉城跡	倉吉市岩倉字明谷山、上ノ坂	31203 :	35° 23' 0"	133° 48' 44"	19931111-19931118	91	
沢べり遺跡	倉吉市不入岡字沢べり、赤次良前、笹、美原敷、家前	31203 :	35° 26' 25"	133° 48' 23"	19931115-19940216	2778	
不入岡遺跡	倉吉市不入岡字荒神畑、宮ノ前、大林、笹	31203 :	35° 26' 14"	133° 48' 14"	19940418-19940530 19941107-19950303	301 439	
四谷城跡	倉吉市四谷字城ノ谷、探畑谷、田沢谷	31203 :	35° 24' 39"	133° 51' 21"	19940606-19940617	261	
大御堂庵寺	倉吉市麻屋寺町	31203 :	35° 25' 41"	133° 50' 30"	19940614-19940712	591	
熊ヶ谷墳丘墓	倉吉市大塚字塚ヶ谷	31203 :	35° 25' 19"	133° 51' 34"	19940912-19941006	163	
岡山遺跡群	倉吉市小田字田内塚	31203 :	35° 26' 42"	133° 50' 11"	19941026-19941116	308	

所在遺跡名	種 類	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
ニタ子塚遺跡	墓・古墳	弥生	：土壌墓 古墳	縄文土器・弥生土器・土師器	古墳時代前期の古墳群。墳丘は削平。	
宮ノ平古遺跡	集落	古墳	：竪穴式住居址	2棟 土師器・須恵器・鉄製品 磁石・卑石	古墳時代の集落跡。	
四王寺跡	寺院	平安	：張り込み地蔵跡	土師器・陶磁器・鉄器	869(貞観9)年に造営された四王寺跡。	
上張野遺跡	集落・古墳	古墳	：竪穴式住居址 古墳 箱式石椁墓 土壌	1棟 8基 4基 1基	土師器・須恵器 箱式石椁墓を主体とする古墳群と古墳時代の集落跡。	
岩倉城跡	城館	室町	：平坦地	4基 土師器・陶磁器	15～16世紀代の東伯耆の豪族小橋氏の居城。	
沢べり遺跡	集落・古墳	弥生	：竪穴式住居址 古墳	6棟 1基 3基 7基 5基	弥生土器・土師器・須恵器 土師質土器・須恵質土器 陶磁器・鉄製品	弥生時代から中世に至る古墳群と集落跡。
不入河遺跡	官衙	奈良～平安	：竪立柱建物	8棟 土師器・須恵器・陶磁器 繻の羽目	奈良時代の大規模遺物を中心とする官衙遺跡。	
内谷城	城館	室町	：段(曲輪) 平坦地	2基 2基 須恵器・土師質土器	15～16世紀代の城跡。城主は不明。	
大御堂庵寺	寺院	奈良～平安	：旧水鏡 木樋	2条 2 軒丸瓦・軒平瓦・丸瓦・平瓦 土師器・須恵器	奈良時代の寺院跡。川原寺式の軒瓦をもつ。	
根ヶ谷墳丘墓	墳丘墓	弥生	：墳丘墓	1基 弥生土器・土師器・須恵器	弥生時代の墳丘墓。三角形の墳丘に方形の突出部をもつ。	
向山古墳群	古墳群	古墳	：古墳	15基 縄文土器・土師器・須恵器	古墳時代前期から後期の小型の墳丘からなる古墳群。	

## 倉吉市内遺跡分布調査報告書Ⅷ

平成7年3月20日 印刷

平成7年3月20日 発行

編集 倉吉市教育委員会  
発行 倉吉市教育委員会  
印刷 山本印刷株式会社  
製本 山本印刷株式会社